

三重大大学の基本的な目標

三重の力を世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。
～ 人と自然の調和・共生の中で ～

・「4つの力」

- 生きる力** 主体的学習力 実践力 問題解決力 心身の健康 協調性
- 感じる力** 豊かな感性・気づき 倫理性 強いモチベーション 学ぶ喜び
- 考える力** 課題探究力 科学的推論力 クリティカル・シンキング力
- コミュニケーション力** 国語力 情報受発信力 発表・討論・対話力
- ・課題探究心, 問題解決能力, 研究能力の育成
- ・学際的・独創的・総合的視野をもち, 国際的に活躍できる人材の育成

附属中学校 第30次 研究テーマ

「社会の変化に対応できる生徒の育成」

～SDGsを核に資質・能力が伸びる取り組みを目指して～

育成したい資質・能力

- ・「なぜそうなのか」を考える力
- ・「本当にこれでいいのか」と考える力
- ・新しいアイデアを生み出す力
- ・問題に気づく力
- ・問題を解決する力
- ・振り返り, 次に生かす力

各教科等

各教科等の内容とSTEPを結びつけるための取組として「ESDカレンダー」という計画表を作成し、どの時期にどの教科がどの概念にかかわる授業をしているかを明確にしています。そうすることで教科等横断的な視点で授業を計画でき、教科で身につけるべき力を伸ばしながら、資質・能力を育成できると考えています。

25～29日	1～5日	8～12日
「クワの飲み水」 概念(内容):【環境】 概念(教科):【多様性】		
「高のつばねはたさる」 中心概念(内容):【環境】 中心概念(教科):【多様性】		
「水や空気を清潔に保つ」 中心概念(内容):【環境】 中心概念(教科):【多様性】		

総合的な学習の時間

「STEP」というSDGsを核とした探究的な学習に取り組んでいます。STEPという名称には、次のふたつの意味が込められています。

①Save The Earth Projects (地球を救うプロジェクト)の意。
②探究学習の過程を
Hop(気づき,発想する)
Step(計画を立てる)
Jump(実行,行動する)と
とらえ、Jumpに向けて、自分たちに何ができるかを考える授業にしたいという思い。

〈STEPの取組〉

- ・**学年をこえた班編成**
学年にこだわらず、問題意識の持ち方や研究の方向性によって班を編成し、協力して活動を進める。
- ・**個人探究活動**
テーマに沿って個人で考えたり、調査したりして問題意識をもつ。
- ・**1日STEP**
専門家から指導を受ける。
- ・**活動報告会**
保護者や専門家, 教員に向けて成果を発表する。

附属中学校学校経営方針・学校教育ビジョン

三重大大学が大切にしている4つの力

- 生きる力
- 感じる力
- 考える力
- コミュニケーション力

附属学校園一貫教育の目指すもの

教育目標

「主体的, 創造的に生き抜く力(生きる力)を持った心豊かな子どもを育成する」

めざす子ども像

- ・積極的に学び続け, 社会の中で知識を活用し, 自らの考えを豊かに表現できる子ども
- ・仲間を大切に, 互いに高め合うことができる子ども
- ・健康で活力ある学校生活を過ごすことができる子ども

附属中学校の教育目標

「豊かな創造性とたくましい実践力をもち, 生活をきりひらく生徒の育成」

めざす学校像

- ・生徒自らの学びを表現し合う学校
- ・生徒一人ひとりが大切にされ, 心通うかわりのある学校
- ・内にも外にも開かれ, 信頼される学校

めざす生徒像

- ・積極的に学び続け, 豊かに表現しようとする生徒
- ・自他の人権を大切に, 仲間とともに高め合う生徒
- ・健康・安全に留意し, 心身ともに健やかに成長する生徒

めざす教師像(3本柱)

- ・自らを磨き, 実践し, 行動で示す教師
- ・愛情を持ち, 生徒と向き合い, 生徒の主体性を引き出す教師
- ・同僚性をもち, ともに高めあう教師

令和2年度の具体的な行動計画

〈生徒一人ひとりの学びを大切に授業づくり〉

- 1 授業公開を積極的に進める。(1人年3回以上)
- 2 実践例や研究授業の振り返りを教科部会を中心に行い, 今次研究を推進する。また, プレ公開や他校との連携の場などを通して本校の取り組みを積極的に発信する。
- 3 学部との連携を積極的に進める。(連携事業・授業, 教育実習, STEP, ボランティア等)
- 4 専門性や力量を高める研修会・ベンチマーキングに積極的に参加し, その還元に努め, OJTの活性化を図る。(他附属はじめ各種研究会への参加, 学部との連携)
- 5 シラバスの活用, ノート指導を通して学習習慣の定着や自律して学ぶ態度を養う。

〈豊かな関わりを育み, 豊かな心を育てる教育活動の推進〉

- 1 「動く! 附中生」を活動方針として掲げ, 生徒会活動を支援し自治の力を養い, 他との交流に積極的に交流する。(ユネスコ, リーダー交流, 他校との交流など)
- 2 挨拶, 清掃, 朝読, 部活動のとりかかりに重点を置き, 共通理解を大切に教師集団が率先して取り組む。
- 3 生徒会活動をはじめ, STEP等の様々な活動において, 教師が生徒活動を支援することを通して, 教師と生徒の信頼関係をより深める。
- 4 人権教育を基盤にした集団づくりの力量を高めるとともに, 道徳の指導の在り方について検討を進める。(橋北中学校区人権学習実践交流会への参加, 道徳の授業公開など)
- 5 防災教育を推進や危機管理体制, 環境の整備に努める。

〈働き方改革の推進, 学校経営の改革〉

- 1 働き方改革を推進し, 総勤務時間の縮減とともに, 職場の環境整備に努める。(定時退校日の設定等)
- 2 めざす学校像の実現に向けて, 教職員との対話を積極的にもち, 自校のミッションを共有するとともに, それを学年, 学級での具体化につなげる。(個人面談: 年2回以上)
- 3 1人1台パソコンを活用し, 共有ファイル等による情報共有を図るとともに, 業務の効率化を進める。
- 4 各分掌からの提案を運営委員会に提出し, 事前の検討を加えることや, 定型の業務のルーティン化, 資料の事前配布などで会議の効率化を図る。また, それぞれの取り組みにおけるPDCAサイクルの積極的な運用に取り組む。

〈学部や保護者と進める開かれた学校づくり〉

- 1 学校自己評価とともに学校関係者評価委員による学校評価を実施する。(年3回)
- 2 メール配信の継続や学校だよりの発行等, 積極的な情報発信に努める。
- 3 ホームページの更新を継続的に行い, 充実を努める。
- 4 育友会活動や学生ボランティアの活用等, 本校にとって効果的かつ継続可能な活動について育友会役員とともに推進を図る。
- 5 四附属一貫教育のカリキュラムの実践検証し, 改善につなげる。

